



# Veritas Alta Surveillance

## 概要

今日の企業法務、規制の課題として、あらゆる規模の企業がコンプライアンスに関する新たな課題に直面しています。企業内外のコミュニケーションはますます細分化されており、単にメールを監視するだけでは不十分です。各種規制に対応するには、チャットなどの他のソースも監視の対象となる場合があります。規制対象のコミュニケーションの量が増えるにつれ、コンプライアンス要件への対応に関する課題も増加しています。

## 監視に関するコンプライアンスの実現

Veritas Alta™ Surveillance (旧 Veritas Advanced Supervision) は、規制対象のコミュニケーションの監視レビューを合理化できる効果的なコンプライアンスソリューションです。Veritas Merge 1 または Veritas Alta™ Capture との統合を通じて 120 以上のコンテンツソースを選択およびサンプリングするフレームワークが用意されており、適切なスーパーバイザによってレビューを監視し、そのプロセスを監査目的で記録することができます (図 1 を参照してください)。

Veritas Alta Surveillance により、対象を定めたサンプリングとオプションの分類追加によってコンプライアンスレビュー確保のコストと労力を削減するとともに、コンプライアンスの証跡を提示することができます。

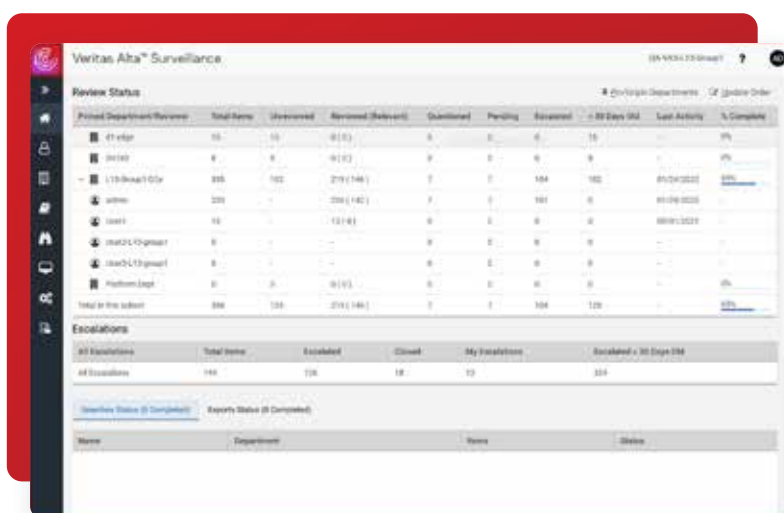


図 1. Veritas Alta Surveillance のダッシュボード。

## 主な特長

- 新しい直感的なユーザーインターフェース:
  - レビューを最も関連性の高いコンテンツへと導くナビゲーションワークフロー
  - レビューステータスの詳細
  - 分類ポリシー、ホットワード、ホットワードセットを含むすべてのメタデータに基づくレビューセットの絞り込み
- SEC、FINRA、MiFID II、Sarbanes-Oxley、IIROC、ESMA、ESA、SESC などの規制のコンテンツ保持と監視要件の増加に対応
- ノイズをフィルタリングし、サンプルセットに最も関連性の高いコンテンツを含むようにするため、Veritas Alta™ Classification を使用するオプションを提供
- 大規模なグローバル環境を監視し、部門全体とサブ部門を監視 (図 2 を参照)
- レビューアのチームを割り当てて監視する機能
- 多面的で並べ替え可能なインターフェースでファイルおよびコラボレーションツールをレビュー
- 250 を超えるポリシーと 1,100 以上の事前構築済みパターンを活用して個人データ、医療、財務、行政、および国際的な規制対象データを自動的に特定する、集約的な分類機能
- 複数の検索およびサンプリングメカニズムを活用して、さまざまな変数に基づいてコンテンツをキャプチャ

## 実現方法

### 優れたコンテンツアーカイブ

アーカイブ先としてオンプレミスとクラウドのどちらを選ぼうと、すべてのコンテンツにインデックスが付けられ、改ざん不可能な WORM ストレージに保存されます。

### 監視、サンプリング、およびレビュー機能の強化

Veritas Alta Surveillance により、コンプライアンスポリシーに従ってすべての関連コンテンツを検索、サンプリング、レビューするために構造化されたレビュープロセスを導入できます。

#### ステップ 1: レビューの範囲を設定する

すばやく条件を定義します。

- 含めるコンテンツソースの選択
- レビュー済みアイテムの除外（オプション）
- データ範囲と時刻によるフィルタリング
- 送信者 / 受信者の範囲の指定
- 特定のテキスト（単語または語句）の特定
- ホットワード / ホットワードセットの追加
- ベリタスによって自動的に分類されている対象または対象外コンテンツの優先順位付け
- 検索範囲からの特定のテキスト（メールの免責事項など）の除外

#### ステップ 2: サンプリングと検索ルールを適用する

部門のニーズに合わせてカスタマイズします。

- 部門全体または特定の個人を対象とした、全コンテンツまたはチャンネル単位のサンプリング
- 特定の割合のサンプリング
- 保証されたサンプリングまたは統計的なサンプリングの活用

#### ステップ 3: 検索結果をレビューする

ユーザーフレンドリなインターフェースを介して、レビューアにレビュー用コンテンツが提示されます。各アイテムのステータスが追跡され、次のアクションが必要な場合には、元の電子メールにフラグが付けられます。

レビューアは以下を行います。

- メタデータ値に基づくレビューでファセットを使用してコンテンツのフィルタリング
- 見つかったホットワードとホットワードセットに基づくフィルタリング
- コンテンツソースと分類タグに基づくフィルタリング
- 調査中の「保留」ステータスの設定
- レビュー済みメッセージへの注釈付け
- 必要に応じてメッセージをシニアコンプライアンススーパーバイザへエスカレーション
- 全員がレビューを終え、すべてが記録および報告されたときにレビューサンプルをクローズ

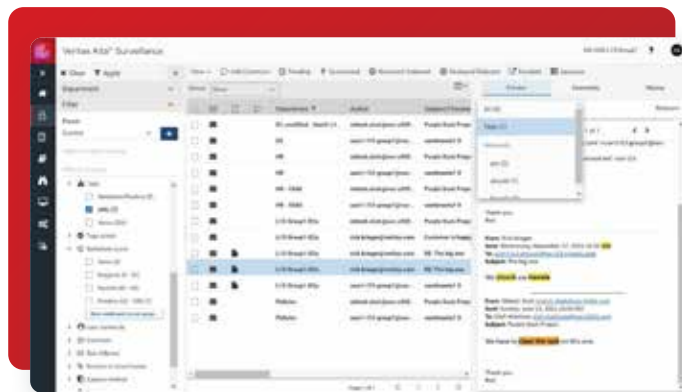


図 2. 監視対象部門の階層的な管理。

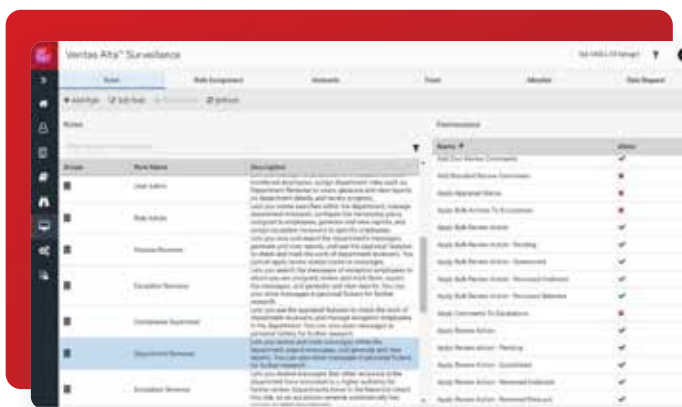


図 3. ホットワードと分類の強調表示ナビゲーションを備えたレビューウィンドウ。

## ステップ 4: ログを記録する

プロセス全体の監査証拠を保存します(図 4 を参照してください)。異議が生じた場合、以下を活用して実施した監査を管理者が実証できれば、何が起こったかを容易に調査できます。

- システム構成
- システムユーザー
- グループ構成
- ユーザーのアクティビティ (検索、レビュー)
- レビュープロセスにおけるメッセージの監査証拠

## Veritas Alta Surveillance の製品機能

- 完全な管理と監査 — コンプライアンスの監視およびレビュープロセス
- 複数のフィルタリングオプション — 分類を使用してサンプルをフィルタリングし、無関係のコンテンツをブロックして、関連コンテンツを確実に含める (分類オプションが必要)
- 使いやすさ — ユーザーモデルは一連の監査対象のグループ (ディーラーデスク、支店など) であり、各監査対象のグループには規制レビューを実施する所有者またはレビューアを関連付けられる
- 効果的なサンプリング — レビュー対象アイテムを生成するための検索とサンプリング
- カスタム検索 — 検索結果からテキストブロックを除外する (メールの免責事項など) 機能を備えた、手動または自動検索 / サンプリング
- インテリジェントなレビューと分類 — 機械学習を利用して、レビューアが以前の決定に基づいて関連性をどのように判断するかを予測し、AI の使用による感情分析と言語検出を導入
- タグ付け — アイテムの関連性を示すレビュー時のタグ付け、組み込みのエスカレーションワークフローを活用して緊急のアラートに対応
- 役割に基づくアクセス (図 5 を参照) — アプリケーションおよび部門レベルで役割と個別職務を作成および変更
- IR — 過去のレビューアのアクションからの学習に基づいてアイテムを自動的に分類する、常にオンで手動のトレーニング計画を必要としない、完全な受動的学習エンジン

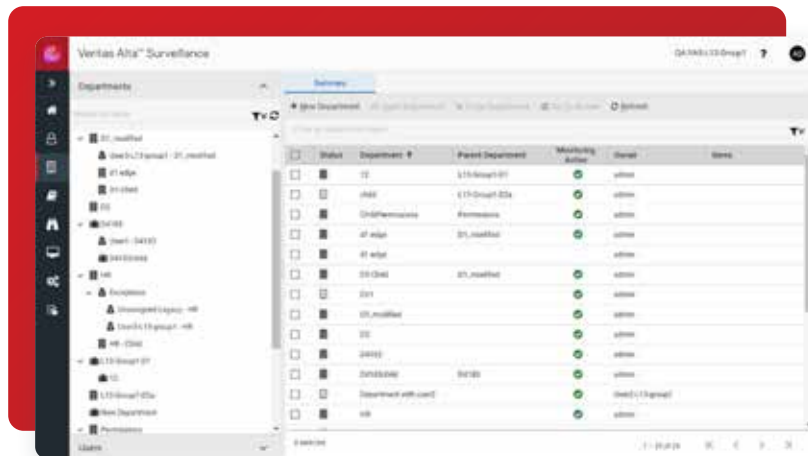


図 4. 強化された監査イベントの検索。

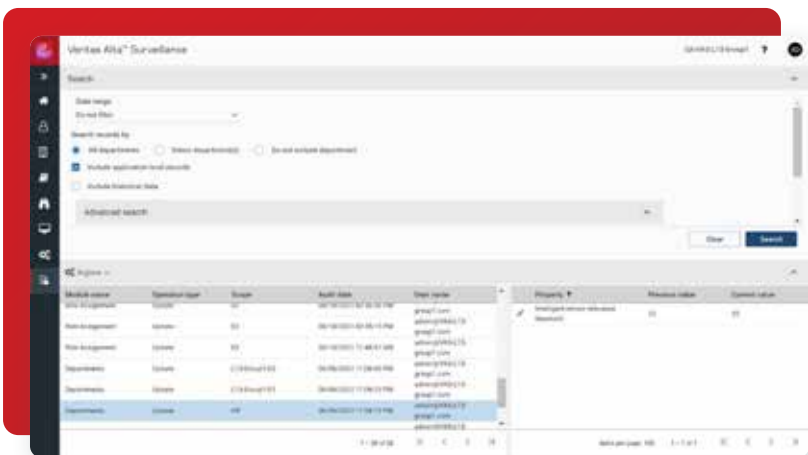


図 5. 個別の役割に基づくアクセス制御。

## カテゴリ別のレビューの優先順位付け

アーカイブコンテンツにコンテキストを適用し、コンプライアンスのレビュープロセスを最適化します。Veritas Alta™ Classification を追加して、取り込まれたすべてのコンテンツを分析し、何をレビューに含めるかを判断します。分類ポリシーを使用すれば、メッセージにカテゴリ別のフラグを付け、より効果的なレビューを促進できます。このプロセスにより、レビューは無関係なメッセージ（迷惑メールやバウンスメッセージなど）ではなく優先度の高いコンテンツを調査することができます。

### 直感的でイベント駆動型のワークフロー

- 関係、辞書との一致、メタデータおよび分類ポリシーとの一致を利用して検索結果を管理および迅速にレビューし、レビュープロセスを体系化
- カスタマイズ可能なマークを使用して、個別アイテムまたは結果セットをレビューおよびマーク付け
- 指定されたスーパーバイザにさらなる調査を依頼するため、個別アイテムまたは結果セットをエスカレーション
- ケース情報とレビュー済みコンテンツを Veritas™ eDiscovery Platform へエクスポート
- 一括レビュー — 1 つのアクションでレビューステータスを複数のメッセージへ割り当て

## ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃もたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

## VERITAS™

ベリタステクノロジーズ合同会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティ 4 階  
[www.veritas.com/ja/jp](http://www.veritas.com/ja/jp)

各国オフィスとお問い合わせ先については、  
弊社の Web サイトを参照してください。  
[veritas.com/ja/jp/company/contact](http://veritas.com/ja/jp/company/contact)